患者向医薬品ガイド

2023年9月更新

ストロメクトール錠3mg

【この薬は？】

販売名	ストロメクトール錠3mg STROMECTOL Tablets 3mg
一般名	イベルメクチン錠 Ivermectin
含有量 （１錠中）	3mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html　に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

・この薬は、駆虫剤と呼ばれるグループに属する薬です。
・この薬は、寄生虫の神経・筋細胞に存在するグルタミン酸作動性Cl^-チャンネルに結合することにより、寄生虫が麻痺を起こし、死に至ります。
・次の病気の人に処方されます。
腸管糞線虫症
疥癬
・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに飲むことが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

〇次の人は、この薬を使用することはできません。

・過去にストロメクトール錠に含まれる成分で過敏症のあった人

〇次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に告げてください。

・ロア糸状虫による重度の感染症にかかっている人
・オンコセルカ症又はロア糸状虫症にかかっている人
・感染症にかかりやすい人（HIV に感染している人や HTLV-1 に感染している人など）
・妊婦または妊娠している可能性のある人
・授乳中の人

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。
通常、飲む量および回数は次のとおりです。

〔腸管糞線虫症の場合〕

一回量	体重１kg 当たり約２００μg
飲む回数	２週間間隔で２回

〔疥癬の場合〕

一回量	体重１kg 当たり約２００μg
飲む回数	１回

●どのように飲むか？

空腹時にコップ１杯程度の水で飲んでください。水以外の飲料で飲まないでください。

●飲み忘れた場合の対応

決して２回分を一度に飲まないでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

発疹、接触性皮膚炎、浮腫、頭痛、めまい、無力症、悪心、嘔吐（おうと）、下痢、発作、運動失調、呼吸困難、腹痛、異常感覚、蕁麻疹があらわれることがあります。いくつかの症状が同じような時期にあらわれた場合は、使用を中止し、ただちに医師に連絡してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

・この薬を使用した後に、意識障害があらわれることがあるので、自動車の運転などの危険を伴う機械の操作を行う場合には、注意してください。
・妊婦または妊娠している可能性のある人は医師に相談してください。
・授乳している人は医師に相談してください。
・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬

を使用していることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意いただきたい重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。
このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
中毒性表皮壊死融解症（Toxic Epidermal Necrolysis：TEN） ちゅうどくせいひょうひえしゆうかいしょう(トキシック エピダーマル ネクロライシス：テン)	皮膚が広い範囲で赤くなり、破れやすい水ぶくれが多発、発熱、粘膜のただれ
皮膚粘膜眼症候群(Stevens-Johnson 症候群) ひふねんまくがんしょうこうぐん(スティーブンス・ジョンソンしょうこうぐん)	発熱、目の充血やただれ、唇や口内のただれ、円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する
肝機能障害 かんきのうしょうがい	疲れやすい、体がだるい、力が入らない、吐き気、食欲不振
黄疸 おうだん	白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、尿の色が濃くなる、体がかゆくなる
血小板減少 けっしょうばんげんしょう	鼻血、歯ぐきからの出血、あおあざができる、出血が止まりにくい
意識障害 いしきしょうがい	意識の低下、意識の消失

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。
これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	発熱、疲れやすい、体がだるい、力が入らない、体がかゆくなる、出血が止まりにくい
頭部	意識の低下、意識の消失
顔面	鼻血
眼	目の充血やただれ、白目が黄色くなる
口や喉	唇や口内のただれ、吐き気、歯ぐきからの出血
腹部	食欲不振
皮膚	皮膚が広い範囲で赤くなり、破れやすい水ぶくれが多発、粘膜のただれ、円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する、皮膚が黄色くなる、あおあざができる
尿	尿の色が濃くなる

【この薬の形は？】

形状	円形の裸錠
PTP シート	
直径	5.6mm
厚さ	2.0mm
重さ	60mg
色	白色
識別コード	MSD32

【この薬に含まれているのは？】

有効成分	イベルメクチン
添加剤	結晶セルロース、部分アルファー化デンプン、ステアリン酸マグネシウム、ブチルヒドロキシアニソール、無水クエン酸

【その他】

●この薬の保管方法は？

・直射日光と湿気を避けて室温（１～３０℃）で保管してください。
・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

・絶対に他の人に渡してはいけません。
・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：MSD 株式会社（https://www.msd.co.jp）

販売会社：マルホ株式会社（https://www.maruho.co.jp）
製品情報センター
電話：０１２０－４５－８７１２
受付時間：９時３０分～１７時３０分
（土・日・休日および当社休業日を除く）